

東見前保育園民営化移管に係るご質問・ご要望への回答

第1回東見前保育園三者懇談会後に、保護者会幹事様から、東見前保育園民営化移管に係るご質問・ご要望を頂戴しておりました。民営化移管後の保育所運営や、新園舎の概要などのご質問等を、項目毎に回答させていただきます。

今後におきましても保護者の皆様のご意見等を賜りながら、民営化移管を円滑に進めて参りたいと思いますので、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

○新園舎の概要について

Q：園舎の構造（教室、ホールなど）はどのような計画でいますか。子どもたちが不自由なく楽しく生活できるような工夫、冷暖房機器は整備されますか。

A：保育室面積については、いずれの年齢も既存園舎よりゆとりがある設計で検討しております。ロッカーなどの造作についても安全性を優先し、便の良い構造で検討して参ります。また、快適な温度設定を保ち子どもたちが健康的に過ごせるように検討しております。

Q：トイレは子どもたちが使いやすい大きさ数があるといい。小学校での生活に向けて1つでもいいので和式をつけてほしい。

A：トイレの大きさは未満児、以上児で身体の大きさに合わせたサイズとなっています。（既存園舎のトイレも同様です。）

市施策方針として小学校ユニバーサル化を図るため、市内小学校のトイレ洋式化を順次実施しております。保育園のトイレについても同様に洋式トイレの設置を検討しております。

Q：駐車場はどのような計画ですか。子供の乗り降りや布団などの積込みのため、駐車枠を広めにお願いします。

A：保育園敷地西側の接道から出入りができる駐車場を設けることを計画しています。

駐車台数や区画の取り方については敷地面積に限りがありますので、園庭の整備計画と並行して計画して参りたいと思います。

Q：園庭はどのような計画ですか。運動会ができるくらい広いと嬉しい。遊具がたくさんあるといいです。

また、旧園舎が取り壊されてから、園庭が整備されるまでどのくらい期間がかかります。その間外遊びはどうなりますか。

A：園庭整備計画については、これから保護者の方ともご相談しながら、遊具配置や活用方法など計画して参りたいと考えています。また、駐車場と園庭は子どもの飛び出しなどの危険があるため、安全性を考慮し、仕分けて設定する計画です。

また、市が実施する旧園舎の解体が完了してからの園庭整備となります。工程については市と調整し検討してまいります。旧園舎解体から園庭整備完了までの期間は近隣の公園やお散歩による屋外保育を検討しています。

Q：防犯カメラの設置や保育園玄関や門扉などにセキュリティーパスの導入など計画はありますか。

A：園児の安全性を優先し検討して参ります。

Q：災害時、安全な作りや避難が必要な時に逃げやすい構造になっていますか。

また、冬は除雪したとしても道路が狭い。排雪の想定はありますか。

A：新園舎は2階建てで2階にも保育室を設定しています。非常時には2階からの避難経路として、屋外階段の設定が義務付けられており、屋内階段と対極に設定することで、リスクの分散化を図っています。

また、園児の安全を重視した避難の仕方を検討して参ります。冬期間の登園・降園の際も十分に安全を確保して参りたいと思います。

Q：建て替えの際、旧園舎に登園する際の安全対策についてどのように計画されていますか。

A：新園舎の建築期間及び旧園舎の解体工事期間何れも、敷地を仮囲いで仕分けて、安全性を確保します。詳細について業者決定後、お知らせいたします。

〇保育について

Q：特別保育（病児、休日、延長保育）の予定を教えてください。

A：病児保育など特別保育の実施については、今後の三者懇談会において、保護者の皆様からのご意見・ご要望を伺って検討して参ります。

Q：はだし保育の場合でも、年長は小学校へ向けて内履きでの生活も取り入れてほしい。

A：現在、東見前保育園では1・2歳児ははだし保育（2歳児は年度後半は幼児と同時に上履き）、3～5歳児は上履きを履いて生活（6～9月ははだし保育）しています。入学後もスムーズな学校生活への移行に配慮しています。

Q：コロナの状況にもよるが、思い出になるイベントを多く設定してほしい。また、移管後に行事内容等が大きく変わったりしますか。

A：当面の行事の行い方については、新型コロナウイルス感染症の状況を伺いながら、決めていきます。

移管後につきましては、今年度1年間かけて引継ぎ保育を行うことにより、移管前の東見前保育園における保育内容を継承します。なお、移管後の1年間は市の職員が定期訪問を行い、保護者アンケートも実施しますが、宇宙心会さんの持ち味を生かしながら、より良い保育所運営を行って頂く事を期待しています。

Q：引き継ぎ保育について、子供たちは担任の先生を信頼している。お別れの行事など心のケアをしてほしい。子供への影響が最小限になるといい。

A：保護者アンケートを実施し、把握した要望の対応について、検討して参りたいと思います。また、引継ぎ保育については、4月に3名、10月から更に3名の保育士が宇宙心会さんから派遣され、保育士が子ども達を把握することや、子ども達が移管後も知っている保育士を増やすことで、子ども達への影響を減らします。

Q：現状の職員配置と変わる事はありますか。支援が必要な子にも対応できる人数配置であってほしい。

また、先生方の働きやすい職場でなければ良い保育もできないため、先生方が家庭と仕事を両立できる職場であってほしい。

A：保育士の配置人数は児童数に合わせた職員数を配置し、必要に応じて加配も行います。また、より良い保育を提供できるよう、移管後の一定期間、市は宇宙心会に保育士の雇用に係る人件費相当額の補助を行い、職員体制の確保に努めて参りたいと思います。

○給食について

Q：アレルギーの子どもについて、家庭と園で連携を取り引継ぎされるようにして欲しい。

A：引継ぎ保育により、宇宙心会さんには児童一人ひとりの特性や様子を把握していただき、移管後も保護者様とご相談しながら、児童に合わせた保育を行っていただきます。保育のみならず、給食についても、担当栄養士が引継ぎを行います。

Q：0歳クラスは月齢や食材の進歩に合わせたメニューになる？また、家庭と園で連携して楽しい食事になればいい。

A：児童の月齢に併せた給食提供を行います。また、0歳児はミルク提供もを行います。また、移管後の給食は地産地消で手作りの給食を提供します。

Q：給食費について、集金方法や金額の変更はありますか。また主食の提供もありますか。

A：保護者の皆様のご意見を参考に検討して参りたいと思います。

Q：栄養士の先生が子どもたちに直接食育を行うような事があってもいい。また、誕生会などの特別メニューは子供たちが楽しみにしているので継続してほしい。

A：園庭の畑に子どもたちと野菜を育てたり、毎月1回絵本に出てくる給食やおやつをメニューに取り入れるなど、子ども達が食に親しみやすい工夫を行って参ります。

行事食についても、公立保育園で行っている季節時々の内容も引継ぎます。

○その他

Q：移管スケジュールは？4月から新園舎に通うようになるのですか。

A：宇宙心会さんが令和3年度中に新園舎の建築し、令和4年4月1日から新園舎で保育を行います。

Q：移管後の保護者会のあり方はどうなりますか。

A：おおぞら村一番地こども園（宇宙心会さんが運営している保育園）では「園児の行事支援」及び「保育の振興」を図り、園との連携活動を行うとともに保護者の親睦を目的として、「保護者会」を立ち上げております。移管後の東見前保育園でも保護者の方々と協議の上、決定していきたいと考えております。